

令和4年2月17日

都内私立中学高等学校

校長
教頭 殿
国語科 教諭
関係 教職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 平方 邦行
文系教科研究会委員長 畑澤 正一

東京私学教育研究所「講演会」のご案内

《運営：文系教科研究会（国語）》

「10代の言葉」

梅花の候 先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究所の講演会を下記の通り開催いたします。今回は、小説家の平野啓一郎氏をお招きします。

平野氏は昨年5月26日、長編小説『本心』を刊行しました。「自由死」が合法化された近未来の日本を舞台に、最新技術を使い生前そっくりの母を再生させた息子が、「自由死」を望んだ母の〈本心〉を探ろうとする、という非常に示唆に富んだ内容でした。ミステリー的な手法を使いながらも、「死の自己決定」「貧困」「社会の分断」といった、現代人がこれから直面するであろう課題を浮き彫りにし、愛と幸福の真実を問いかけ、平野文学の到達点ともいえる作品となりました。

今回の講演会においては、平野氏に「10代の言葉」という演題で、自由に語って頂きます。平野氏自身の体験を交えながら、10代の読書、そして国語表現について、お話を頂く予定です。

作家の声を直接聴くことができる貴重な機会です。コロナ禍の不確定要素の強い毎日で、各学校とも校務ご多用とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和4年3月24日（木）18:00～19:30（受付開始 17:30～）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 千代田区九段北 4-2-25
3. 講 師 小 説 家 平野 啓一郎 氏



©ogata_photo

【講師プロフィール】

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。

1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。

以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。2004年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在した。

美術、音楽にも造詣が深く、日本経済新聞の「アートレビュー」欄を担当（2009年～2016年）するなど、幅広いジャンルで批評を執筆。

著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』『本心』等、エッセイ・対談集に『私とは何か「個人」から「分人」へ』、『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『「カッコいい」とは何か』等がある。

4. 定員 **80名** (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
5. 参加費 **無料** (当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております)
6. 申込方法 **3月18日(金)** までに研究所HPからお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com>



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点や災害等の事由から、プログラムの変更や中止(延期)となる場合があります。その際にはweb申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。何卒ご了承ください。

東京私学教育研究所 文系教科研究会 (国語)

担当：岡沢・松田

TEL 03-3263-0544

《案内図》



■交通のご案内



地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口



地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口



JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記改札・出口から徒歩約2分



ご案内

下記の研修会も現在、参加受付中です。
詳しくは研究所ホームページをご確認ください。

研究会・研修会	テーマ・内容	日時	会場
生徒指導研究会 「講演会」	コロナ禍における生徒・家族の変化 と心理的支援の在り方について	2/25 (金) 18:00~20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
中央大学附属中高 「教育実践発表会」	行動する知性を育む ―コンピ テンシー自己評価アンケート分析―	3/22 (火) 14:00~16:00	中央大学附属中高 視聴覚ホール
文系教科研究会(国語) 「授業実践報告会」	授業実践報告 2名	3/25 (金) 18:00~20:00	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)